

ぶどうの樹だより

vol.05
2019.10.1

NEWS LETTER

ぶどうの樹キリスト教会

「名前の由来」

わたしはぶどうの木、あなたがたは枝です。人がわたしにとどまり、わたしもその人にとどまっているなら、その人は多くの実を結びます。」

新約聖書 ヨハネの福音書 15章5節

この聖書のことばが『ぶどうの樹キリスト教会』の名前の由来です。イエス・キリストが『ぶどうの木』で、私たちは『ぶどうの枝』。枝は木を離れては実を結ぶことはできないので、ぶどうの木(イエス・キリスト)に繋がっていることの大切さを覚えておくため、この名前にしました。



日本福音キリスト教会連合
宗教学人 ぶどうの樹キリスト教会

〒160-0008

東京都新宿区四谷三栄町6-26



ぶどうの樹キリスト教会
牧師 三木 新

皆さんは、「教会」を訪ねたことがあるでしょうか？
私たちの教会はキリスト教会のプロテスタントに属しています。「教会にはなかなか『敷居』が高くて、行ったことはない」という方も多いでしょう。また、宗教というものに疑いを抱き、「教会には行かない」という方もいると思います。そのような皆さんに、まずは教会に行かなくても、イエス・キリストがどういう方であるか少しでも知ってもらいたく、お便りを出しています。

「知識は人を高ぶらせ、愛は人を育てます。」

コリント人への手紙第一8章1節

「子どもの頃に教会に通ったことがある」、「ミッション系の幼稚園、学校、大学に通っていた」、「若い頃に聖書を手にして、読んだことがある」という方々は多いと思います。現に、これを手にして読んでおられる方々の中にもおられるでしょう。しかし、最近は、「教会に行ったことがない」、「聖書もどういう書物か知らないし、少し怖くて近づけない」という方も少なくありません。特にオウム真理教が犯した事件以降、宗教を持つことの怖さを私たちは痛感しました。

それでも、宗教に対する警戒心を抱きつつも、キリスト教や聖書、また信仰、死後のことについて興味をお持ちの方は今でも多くいらっしゃいます。そして、「クリスチャンが普段どのように生きているのか」、「食事制限はあるのか」、「献金はどれくらいしているのか」、「お墓の問題をどう捉えているのか」、「そもそも何を信じているのか」尋ねられることもよくあります。クリスチャンが信奉するイエス・キリストとはどういう人なのか。なぜ彼は神の子と呼ばれるのか。処女マリアから生まれたとクリスチャンは本気で信じているのか。三日目によみがえったということを本当に信じているのか。神が天と地を創造したという教えを、このご時世、信じて生きていくことは本当に可能なのか。たくさんの疑問や疑い、興味や関心を持ちながら、クリスチャンの生き方や言動を見て、そこに真理や本物を探し求める方々が実に多くいらっしゃると思います。

私たちは、「世の偶像の神は実際には存在せず、唯一の神以外には神は存在しない」(コリント人への手紙第一8章4節)と信じています。そのことを一人でも多くの方にしっかりと知ってもらい、信じてもらいたいと願っています。しかし、同時に、そのような知識だけであれば、「悪霊」でさえ知っており、信じて、身震いしている聖書(ヤコブの手紙2:19)は教えています。

「知識は人を高ぶらせ、愛は人を育てます。」(コリント人への手紙第一8章1節)

私たちは、単なる聖書の理解や知識、クリスチャンとしての作法や振る舞いを学んで「おしまい」ということでなく、神様の愛を味わい、その愛を受けて、救われ、生かされ、育てられていることを知って頂きたいのです。そして、この神様の愛が、人をどれだけ慰め、励まし、癒し、また襟を正し、矯正するか、皆さんにもぜひ味わって頂きたいと思っております。疑問や興味からで全く構いません、ぜひイエス・キリストを求め、教会をお訪ねください。